

<p><b>実践研修Ⅰ 「支援教員実践レポート交流」で学んだことを教えてください。</b></p>
<p>支援教員の役割が学校によっていろいろあることを学びました。</p>
<p>教育的ニーズに合わせて、様々な配慮がされて、その先には何かしらの成長があるのだと思いました。まずはアンテナを張って気づき、工夫や相談をしながら生徒と向き合っていくことの大切さを学びました。</p>
<p>各学校の状況を踏まえて実践したことを報告しあった。学校によっての特徴があり面白かった。</p>
<p>児童や生徒支援のいろいろな取組など、多くの学びがありました。今後の実践に活かしていきたいと思いま</p>
<p>生徒のそれぞれの特性にあわせて行われている先生方の取り組みが興味深かった。また学校で取り組まれているそれぞれの人権学習や平和学習などの具体的な活動が参考になった</p>
<p>同じグループの先生方の実践とお話が余りにも素晴らしく、たくさんの事を今日も、学ぶことができました。ありがとうございました。今後の指導や私自身の考え方に大きく影響すると思います。その上、こんな私に、子どもへの配慮の仕方や関わり方が良いと、褒め言葉も、頂き、嬉しかったです。頑張ります。</p>
<p>支援教員として校内での推進で、同じような課題を感じていることがわかり、有意義な交流となった。若い支援教員が、来年も頑張りたいという気持ちでいることを嬉しく思った。自分にわかること、経験したことを伝えるためのよい時間ともなった。</p>
<p>人権・同和教育推進の難しさや部落史・部落問題学習での史実を伝えることと学びを深めるための活動について、神代先生の話聞いて体験的な学びの一助を得ました。</p>
<p>他の支援教員の先生の取組について詳しく知ることができた。新たな発見や、進め方、助言などをいただき今後進めていこうと思った</p>
<p>各先生方がそれぞれの学校で状況に応じて奮闘されていることを具体的に知り学ぶことができた。また、自分も頑張らろうという気持ちにもなった。</p>
<p>支援教員として各学校でどのように立ち回っていらっしゃるのかを知ることができ、来年度以降の本校での取組につなげたいと思いました。</p>
<p>また、もっと頑張らないといけないなど、刺激をもらえました。</p>
<p>たくさん学びました</p>
<p>3人グループでしたが学びの多い討議ができました。特に福田規子さんのレポートが素晴らしく、来月の支援教員の報告者に推薦します。</p>
<p>生徒への関わり方は、さまざまな角度から見て、さまざまな支援方法があると学んだ。支援教員による校内研修を実施しているかどうかで、学校の職員連携や意識が変わると思った。週2日の出張日に学校でどんな取組があったのかを、レポート作成しながら振り返ることができた。</p>
<p>生徒一人ひとりをしっかり観察していかなければいけないということ。</p>
<p>自分のテーマに沿った、それぞれの実践の交流ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援教員としての仕事、児童生徒や先生方とのかわりをどのように作っていくかを改めて考えた。何でも屋にならないこと、計画的な支援を継続させること、自分の得意分野を発揮できる場を作ることは、管理職の理科と配慮が必要。</li> </ul>
<p>同じ校種であっても、生徒が抱えている悩みは様々で改めて、1人1人に合わせてコミュニケーションを図ることが大切だと感じた。生徒それぞれで優しく対応してほしい、厳しく対応してほしいという思いは違うため、会話をすることで生徒にあった対応することが大切だと感じた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの学校に課題があり、対処、対応されていることが分かった。</li> <li>・根本的な人員、空間を増やすことが必要だと思う。個人の工夫、努力だけでは、いつか破綻すると思う。</li> </ul>
<p>すべての小学校での実践報告でとても参考になりました。多くはクラスの中での気になる児童、困り感を持つ児童への対応等の報告でした。増加傾向になるこのような児童への対応は、大変難しいと感じました。特に継続して関わることができない支援員にとって何かもう少しできることはないか、違う面からの支援はで</p>
<p>自分が1年間取り組んできたことのふりかえりをするすることができた。みなさんからいろんな意見や感想を聞いて、とても勉強になった。どの学校でも、自分と同じように悩んだり、課題を持っていることを知り、お互いいろんなことに共感できてよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援教員の仕事、役割についていろんな考えを聞き、できることを参考に、改善したり、取り組んでいきたいと思います。</li> </ul>
<p>2時間のグループ交流は時間が余ると思ったが、話し合いが進んで、反対に時間が足りないくらいでした。</p>
<p>学年生徒会を1年生でつくったという話は、参考になったので、来年度、本校でも1年生または1・2年生で作られたらと思います。各学校とも病休や退職等で、保kの職員に負担が増えているので、児童生徒支援教員にも負担が増えたり、生徒にも影響が大きくなったりしているのは大きいと思う。</p>

<p>それぞれの取組が報告された。小さい学校では1クラスですと小さいころから学校生活することで人間関係の固定化の問題。教育相談や生徒会の担当として、生徒たちと関わる姿が示された。また、県立中学校の支援教員の報告からは、小学校では学力上位であった子どもが中位、下位になったときの状況やサポートの仕方が大変だろうと思われた。中学社会科で学び合いに取り組んでいる実践では学び合いの成果や課題、出張が多いことでも生徒とのかわりが少なくなることへの大変さなど、それぞれの報告の中から考えさせら</p>
<p>4人のレポートで共通していることは、どの学校でも指導が難しい困り感のある子どもをかかえ、それに対して教員や支援教員は苦勞している。そういう子どもたち（家庭）への対応に仕方の研修が必要だと感じ</p>
<p>コツコツ活動することが大切</p>
<p>それぞれのレポートから学ぶところはあったが、意見交換では、特に考え（話し合い）が深まるような場面は多くはなかった。</p>
<p>各学校の先生方の真摯な取り組みがとても伝わりました。取組に対する質問や回答を通して様々な苦勞をされながら実践されてきたことがよく分かりました。また、自分の浅い経験の中での実践に対しても共有してもらい勇気づけてくれる言葉かけをいただき、今後の励みになりました。</p>
<p>学校のレポートを作ったことで取組や課題など考えなおすことができました。それを含めて他の学校が行う違う取組について知ることができ、自身の学校でも取り組んでいこうと思いました。</p>
<p>各学校の児童生徒支援教員の活動の様子や学校での動きが分かって参考になりました。学校の規模により取組の仕方にも違っていました。</p>
<p>レポート交流では、教室に入れないMさんに対して、靴箱で掃除をしながらさりげなく待ち、会話をしながら教室まで行ったり、担任の先生も含めて、Mさんの良さを生かしながら見守ったりされる姿がMさんの安心や地震につながっていると思う。学校に行きづらい子どもは、何気ないことでも不安であったり、敏感に感じたりするので、スモールステップで本人に寄り添うことの大切さを学んだ。また、ヤングケアラーの講演を聞いた後、バス旅行の中で子どもの言葉からSさんに寄り添う姿から、子どもの言葉に敏感に対応すること、子どもの言葉に気づく視点を持つことの大切さを感じた。</p>
<p>また、部落史学習に関しては、それぞれの学校での取組を交流した。カリキュラムとしてどのように位置づけるかは、私にとってもいつも課題であるので話し合いができてよかった。道徳で取り組む場合は、県版DVD「ジンちゃんケンちゃん」も踏まえて、内容項目をどのように考えるか「人の生き方に学ぶ」のような</p>
<p>交流の中で、現在まさに困難に直面している生徒の対応をされているレポートを報告を受けた。私自身の報告と重なる部分もあり、お互いに参考となる点が多かったため、とても良い機会であった。生徒が「やりたいこと、どうしていきたいか」については、困難を乗り越えていくカギとなるだろうと思ったし、同時に生徒の不調や行動、発言などには何かしらの原因となる背景があるのだと思う。その問題を解決していくため</p>
<p>事例を様々な視点から見てもらったので良かったです。現在進行形の出来事をレポートにしたため話す場があり、心が軽くなりました。</p>
<p>120分は長いのでは、と思っていたが、4人めの先生は時間が足りないくらいでした。それぞれのレポートに学びがあり、感想や質問もまたそれぞれなので新たな気づきや学びがありました。グループ交流は、これでいいと思いますが、せっかく50名近くの先生方のレポートが集まる場なので、交流していない他の方々のレポートに対して、何か本人に尋ねたり、参考にしたりしやすいように校名、氏名はあった方がよいと思い</p>
<p>困りごとを持つ生徒への配慮や対応について、個でできること、チームで連携して取り組むべきことなどを参考とすることができました。私の場合は生徒との接点が少ないのですが、情報共有に努め、自分のできる</p>
<p>どこの学校にもさまざまな生徒がおり、支援を必要とする状況もさまざまであり、最大公約数的な解決法はなく、かかる時間や労力もさまざまであることを再認識しました。</p>
<p>そのような状況に陥る前に何とかする手立てが求められると思いました。</p>
<p>年間を通して生徒との関わりをもつ時間が少なかったため、レポートの内容についてはとても苦勞をした。生徒とは主に教科の授業でしか関わりがなかったため、担当クラス全体を対象としたレポート内容となって</p>
<p>各学校の実情に合わせて様々な取り組みがされていることがわかった。学年全体や個別など、いろんな支援の仕方があり、また、交流をする中で、自分自身の今後の支援の見直しを考えることができた。</p>
<p>中学校のグループで、社会科教員が3人いたので部落差別を解消するための授業について、学校の規模や生徒指導面で実践の難しさを話し合うことができた。</p>
<p></p>
<p></p>
<p><b>実践研修Ⅱ 社学合同研修会①の講話・エリア研</b></p>
<p>表現できない沈黙の時代になり得ると感じるお話でした。</p>
<p>今日は貴重なお話をありがとうございました。ネットの匿名性は、人間の顔を隠してしまうものだと改めて感じました。相手が見えなくなることで、何をしても良いと錯覚をするように思います。有名人も私も同じ1人の人間であることを忘れてはいけないと思いました。</p>
<p>講演はソフトな語り口で勉強になった。質問への対応はいい感じでゆっくりした口調だった。とても参考に</p>

インターネットにおける誹謗中傷についてのネットリテラシー教育は行っていますが、違った角度の話も聴けて、大変意義のある研修を受けることができました。今後の実践に活かしていきたいと思います。
アンチな意見を持って、ネットで炎上させている様子がよくわかりました。メルカリ事件からも、差別に関しては正しいことを知っていなければ大事になってしまうことがわかります。人権について、学びの姿勢が、子どもにも大人にも求められると思います。
ネットがあって当たり前の子もたちとの関わり方や、新聞社の締め切り時間、遠方との選挙の投票数の違いが出ることなど、新しい発見が有り、勉強になりました。
ありがとうございました。記者の立場からのお話、参考になりました。
誹謗中傷で苦しみ命を絶つ人の話を聞く度に胸が苦しくなります。誹謗中傷は家族にも影響を及ぼすものでコメント等を投稿する側の人間が追い込んでいる事実を認識していないのが問題であると思う。
お忙しい中、ありがとうございました。SNSなどについて職員や生徒に伝えていこうと思いました。
申し訳ないのですが、正直言って講演の論点がぼんやりしていたと思います。(先日の実践交流会の保護司の方の話が明確で実践に基づいていたので余計にそう感じたのかもかもしれません)
貴重なお話をありがとうございました。インターネット上での炎上は今や当たり前になっているような気がします。私も毎日目にします。それをきっかけに命を断つ事件もこれまでも何度も起きているのに、と悔しい気持ちで眺めています。学校でできることには力を尽くしていきたいと思いますので、今日のように様々
後から出ていた質問などを中心に具体的な事例をあげたり課題について最初から話し合えたらよかったと思います。前半の部分は、論点が整理されてなくて、正直よくわかりませんでした。
事実の確認作業が印象的だった
やっぱり、子どもたちにネットとの付き合い方をしっかりと学ばせることが大事だと思いました。
身近な新聞記事やネット記事についてのトラブル事例をわかりやすく紹介してもらい、ありがとうございました。事前に、講演名を見たときから関心がありました。ネット社会や個人情報保護に配慮する時代だからこそ、私自身も、これからも慎重に取り扱う責任がある、と感じました。山田さんの話し方が上手なので、ぜひ本校にも来ていただき、職員研修や児童生徒に講話をしていただきたいです。選挙の当選結果発表で、地区によってAさんは2位なのに、当選確実と表記される理由が、今日わかりました。これからも佐賀新聞を読みます！
私たち教員以上に、不特定多数の方々や方面に向けて様々な配慮を行いながら報道に携われていることに大変勉強させていただきました。
別の出張で、途中で早退失礼しました。誹謗中傷の相談を受けた時の的確なアドバイスの方法のポイントを教えてを教えてください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネットモラル＝日常のモラル」を広げたい</li> <li>・次年度が、分科会の会場となるので、発表も含めてエリア研として協力体制を作っていきたい</li> <li>・神埼小学校としての取組を行政の方々に紹介できた</li> </ul>
炎上への対応について、反論しないことが有効という考え方が勉強になった。自分自身はあまりSNSを使用しないが、生徒へ伝えたいと思った。
ネットリテラシーの重要性については、理解しており、学校でも学習していますが、十分ではありませんし、日々アップデートされる情報にどこまでやれば十分なのかもわかりません。しかし、ネットトラブルは、学校外で起こることも多く、対応の難しさを感じました。私たち学校ができることはネットリテラシーの学習とネットの危険について保護者への啓発だけなのでしょうか？
誹謗中傷の実例の具体例を聞いて、私たちが知らないことが分かった。思い知らないところで、炎上してしまっていることが多い。書き込みを見ておもしろがって誹謗中傷にいたっていることが分かりました。これらを防ぐには、根本的な人間としての在り方、生き方に関わってくると思います。ばれなければいい、誰かわからないようにSNSに書き込むときのマナーをしっかりと持っていないとなくならないと思います。やはり気軽さと罪悪感がないことで、面白半分でエスカレートしやすいと思います。された人はとても傷つき、し
「炎上」という言葉が社会的に軽く取り扱われていると感じました。法律に反する可能性があることがわかる別の言葉がいいと思います。
市役所の生涯学習課の方や町の生涯学習課の方と伊西地区の人権・同和教育のさらなる啓発、発展のために話をすることができてよかった
報道に関する方から、現状を伺い、やはりいろんな問題があることを思わされた。インターネットの良さや危険性をしっかり認識して利用していくことが大切になってくると思った。今までになかったものが、世の中に広まっていくとき、必ず問題が起こってくる。これから先もいろんな便利なものが普及していくのかと思うが、その都度いろんな不都合もあるのだろう。お互いを思いやるベースがないと大変なことになっていくインターネットなどについて考えると一人一人の思いやりなどの必要性を思い知らされる。

<p>「人権・同和」という言葉が使われていたので、支援教員研の講師として、ふさわしくないのではと思った。後半も話もそぞろに内容を準備されてなくて質問コーナーになったのも少し残念、質問にも的確に答えSNSで人が死なないために、できることは何だろうかと考えたいと思います。</p>
<p>佐賀新聞の記者の何気ない記事が、自分の知らないところで炎上するという話には怖さを感じた。匿名をいいことに人間の醜い感情が現れるのは本当にどうにかならないのだろうか。</p>
<p>今年度の実践の振り返りや年度末の企画について話し合いをして、意見を深めた。講師の紹介について、協力して進めていけるとよいと思った。久保田ふれあいセンター駐車場の件や市に関係している施設の予約はインターネットの誹謗中傷の対応について、LINEの件は大変無zかしい案件だと思いました。グループ内のメンバーが秘密にしておけばいい、しかし、それで傷つく人がいる。勇気をもって話をしても標的とされるかもしれない。何かいい手立てが生まれればと思うことだけでした。写真の使い方や新聞が刷られるまでな市との情報交換がよくできました</p>
<p>佐賀新聞社に対しての炎上の話などを聞いて、身近なところで同じようなことがないか気を付けないといけないと改めて思いました。子どもたちは当たり前のようにネット社会の中で生きてるので、正しく知ることやきちんと発信することの大切さを考えました。社学合同でいろんな話ができる機会は大切だと思いまし</p>
<p>○「うらが取れないものは書かない」と山田さんのおっしゃったことは印象に残った。インターネットの誹謗中傷や炎上の背景には、本当のことなのかという精査がなしに行き過ぎたものが本当に多いように思える。「これは本当だろうか」と踏みとどまることは今後大切だと思う。</p> <p>○各市町の方々との交流はとても貴重だと感じた。人権意識調査を今後共有していただくことなど協力頂いてとても有意義だと思う。</p>
<p>・山田さんが仕事上で知り得た人権上の問題、悩みなどまた、仕事をされるうえで大切にされている思いなど、もっと切りこんな内容のお話を期待していたので、正直なところもやっとした研修の時間となりました。</p>
<p>実際に記者の方が経験された誹謗中傷事案のお話をきき、誰もが被害者や加害者になり得る怖さみたいなものを感じました。質疑で出された、掲載する際の「承諾」については、ケースバイケースなのだということ</p>
<p>さまざまな情報に対する態度は大人も子どもも似たり寄ったりなので、デジタルネイティブとされる世代もそうではない世代も、いわゆる情報リテラシーの養成が求められると思いました。</p>
<p>報道の自由がある中での個人情報の取り扱いがとても難しい現実がよくわかった。記事にした当事者以外の家族などへの影響もあることを配慮して発信されていることも理解した。</p>
<p>最近のインターネットにおける問題点やネット監視がされたいことがわかった。そこで、自分にできることは何だろうと考えた時に、やはり正しい人権意識を身につけるために子ども達に授業を行っていくことだと感じた。貴重なお話、ありがとうございました。</p>
<p>簡単なレジメとかあれば、講話に流れがわかってよかったなと思いました。</p>
<p> </p>
<p> </p>

第8回研修充実度

